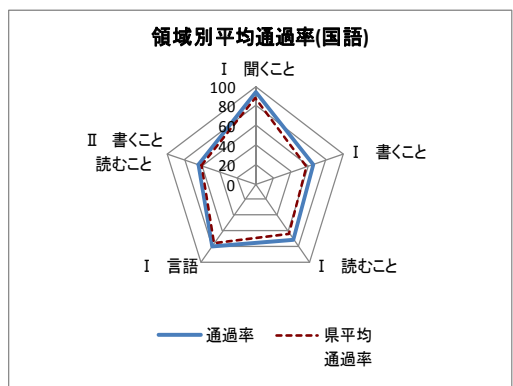


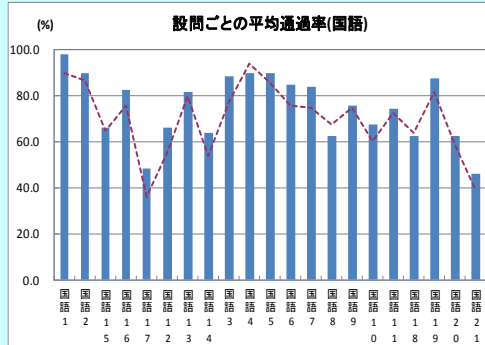
指導方法等の改善計画について〔国語〕

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 74.6%, 県 69.7%)

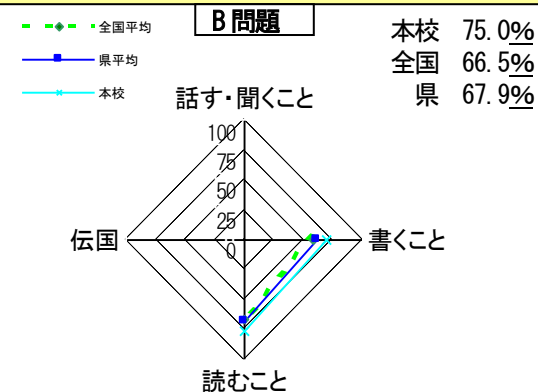
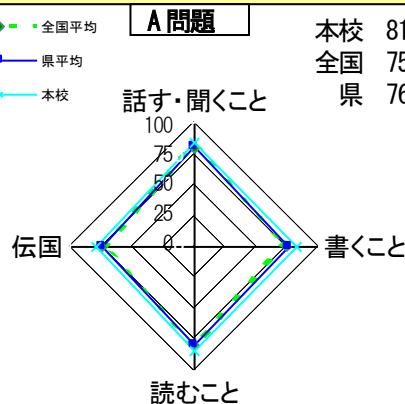
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎タイプIの平均通過率は77.6%,タイプIIの平均通過率は64.4%である。タイプIの問題では、四の3「書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にすることができる。」が48.2%,タイプIIの問題では五の2の記述「詩の共通点を踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くことができる。」が45.9%と低い。
 ◇A問題は、文の照応について理解しているかどうかをみる問題で、通過率49.4%(県平均51.9%)
 ◇B問題は、文や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くことができるかどうかをみる問題で、通過率が67.5%(県平均62.3%)無答率も他の問題と比べて8.4%と高い。(県平均16.5%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業等)

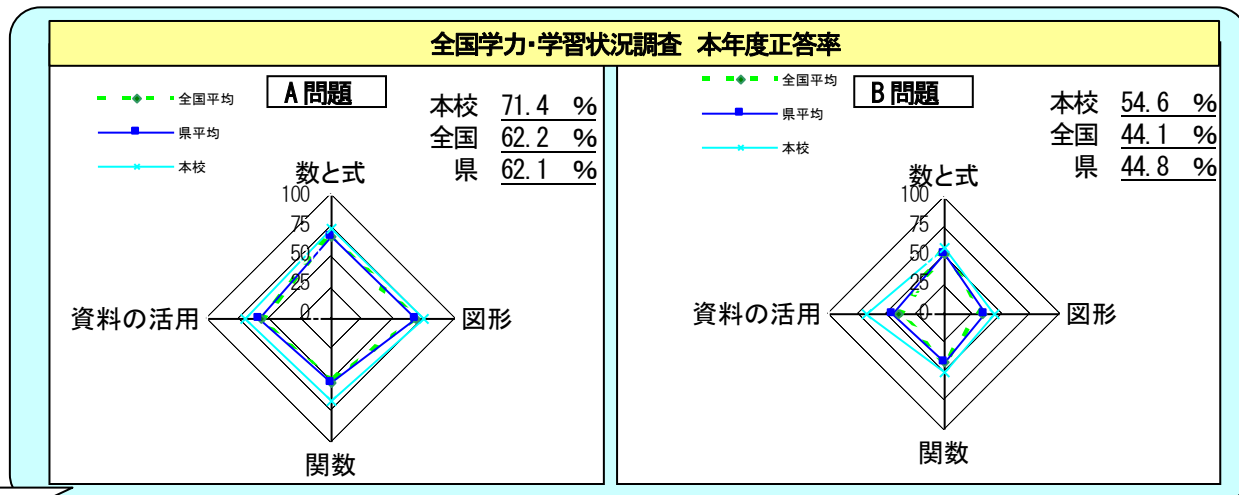
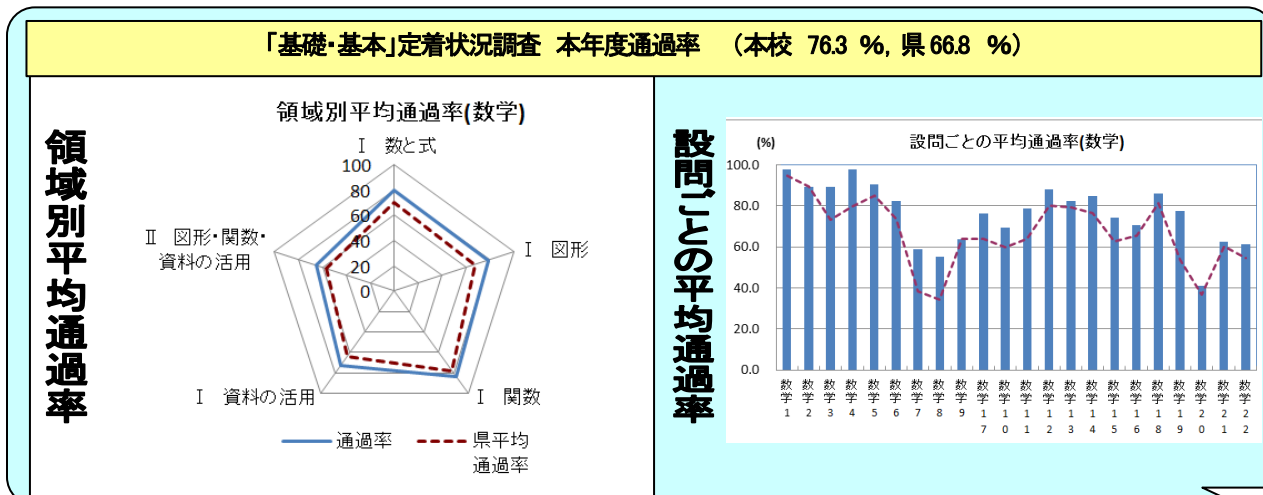
◎調査の結果から、書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にすることと、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。いずれの課題も「書くこと」の領域なので、調べたり考えたりした事柄を相手に分かりやすく伝えるためにレポートを書いたり、自分の立場を明確にして、分かりやすい構成で意見文を書いたりする活動を設定する。
 ◇文章の内容に即して内容を理解したり、目的に応じて必要な情報を読み取ったりすることはできるが、わかったことについて根拠を明確にして書くことに課題があるので、短・長、様々な文種の文章を読み、要約や要旨をまとめ、それに対する自分の意見を書く学習活動を取り入れる。
 ※小中一貫した取り組みについては、目的や意図に応じて、複数の資料から必要な条件を読み取る力や、根拠を明確にして自分の考えを書く力を付けるために、要点・要旨を捉える学習を系統的に積み重ねる。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生中間テスト			2年生期末テスト	2年生期末テスト	2年生H28年「基礎・基本」	
目標値	60%			65%	65.5%	70%	
実施後数値							

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3年生中間テスト			3年生期末テスト	3年生学年末テスト	3年生H28全国学力状況調査	
目標値	70%			70.5%	72.0%	75.0%	
実施後数値							

来年度に向けて

指導方法等の改善計画について〔数学〕



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎比較量は(基準量)×(割合)で求められることを理解し、与えられた図から数量関係を読み取り正しく文字を用いた式で表されたものを選ぶことに課題がある。
正答率 55.3% 誤答率 44.7%

◎事象を式の意味に即して解釈し、言葉の式で表された事象がどんな関数関係になるのかを読み取り、その結果について考えることに課題がある。正答率 41.2% 誤答率 58.8%

◇垂線の作図の方法について正しく理解し、与えられた方法で作図された直線を選ぶことに課題がある。正答率 27.7% 誤答例 垂直二等分である。45.8%

◇与えられた文字式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することに課題がある。正答率 13.3% 無答 14.5% ほとんど説明できていない 55.4%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

◎基準量×割合で求められる数量の関係を表す問題について、表や数直線で数量関係を把握し、言葉の式からの立式というステップで考える指導を丁寧に繰り返し、実際の問題をドリル学習で繰り返していく。

◎関数の関係を式で表す場面で、 y を x の式で表すだけでなく、一つの等式を変形して x や y の値を求める指導を行い、結果についての検証などを式だけでなく表やグラフと比較しながら考えることを繰り返していく。

◇作図によって何ができたのかを理解できるようにするために、作図の手順で得られる点や線分の特徴を図形の性質と関連づけて読み取る場面を設定していく。

◇文字を使って与えられた式の文字を具体数に変えて問題を把握し、手順を説明する活動や文字にあてはまる値を当てる方法を説明する活動場面を設定していく。また、小中一貫の視点において、見通しをもち、筋道を立てて考え、表現することのできる児童・生徒の育成を目指し、「論理的に考えること」「数学的表現を用いて説明すること」「習得した知識・技能を活用すること」の3点を重点的に指導していく。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験	2年生 期末試験			2年生 H27「基礎基本」	2年生 学年末試験
目標値		45.0%	50.0%			60.0%	65.0%
実施後数値							

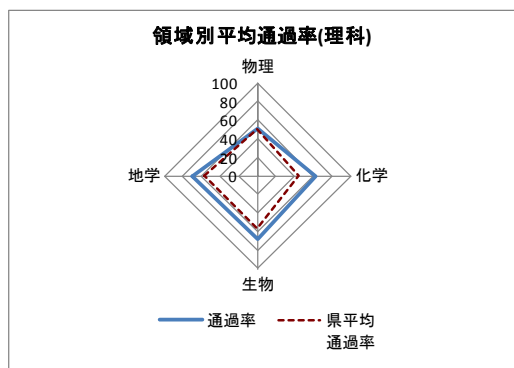
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間試験	3年生 期末試験		3年生 H27「全国学力」	3年生 学年末	
目標値		30.0%	35.0%		45.0%	50.0%	
実施後数値							

来年度に向けて

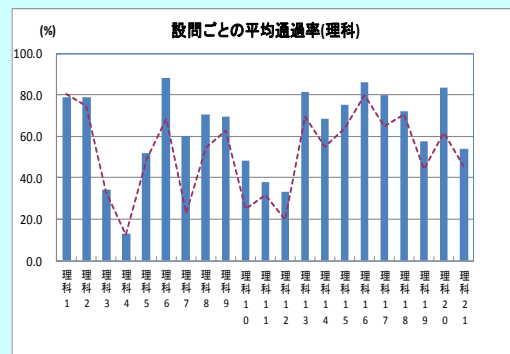
指導方法等の改善計画について〔理科〕

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 62.9%, 県 51.8%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎力の3要素のうち、力の作用点についての理解が十分ではなく、力を矢印で表すことに課題がある。(通過率12.9%)

◎植物の観察結果を基に考察し、植物を分類することに設問について、植物の特徴についての知識を持ってはいても、それらを正しく用いて考察することに課題がある(通過率32.9%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業等)

◎力の3要素(大きさ・向き・作用点)のうち、特に作用点についての理解を深めるとともに、力は物体間の相互作用であることから、力を及ぼす物体、力を受ける物体を明確にして作図の練習を繰り返し行わせることにより、定着を図る。

◎実験や観察で得られた事実や既知の科学的な知識をもとに考察し、結論を導く過程を重視し、積極的に授業に取り入れるとともに、そこで得られた結論を根拠をもって説明する学習活動を組み入れる。

※小中一貫した取組については、基礎的・基本的な内容をおさえるとともに、問題解決の過程において、実験の目的を明確にさせ、結論を自分の言葉で表現させることや生活と関係付けて説明することに重点をおいて指導する。

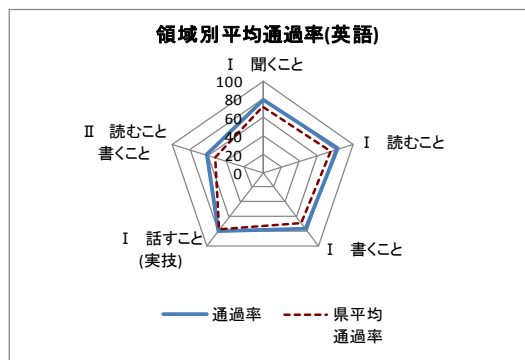
◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年中間試験		2年期末試験		2年 H28「基礎・基本」	
目標値		60%		65%		70%	
実施後数値							

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法							
目標値							
実施後数値							

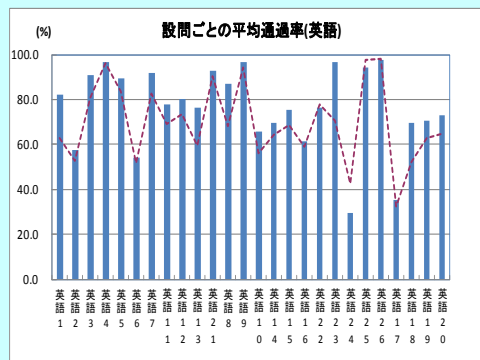
来年度に向けて

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 76.4 %, 県 69.6 %)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎①基本的な文のきまりを理解して英文を書くことに課題が見られる。(与えられた答え(情報)に準じた, What+does+主語+動詞~?を用いて疑問文作成。) (通過率 35.3%)
- ◎②質問や依頼などを聞いて適切に応じる力が身につけていない。(Can I~?での問いかけに対する適切な応答。) (通過率 57.6%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

- ◎①あらゆる疑問詞を用いた演習問題を帯活動の時間を活用して繰り返し行い, 尋ね方や応答の仕方をマスターさせる。また英文を読む際に, 語と語のつながりや, 主語に応じて正しい文を書けるように, 疑問詞, 主語, 動詞, 名詞等をそれぞれ色分けさせ, 一つ一つの単語(語)に着目させ意識させる様に指導を行う。
 - ◎②助動詞を用いた疑問文の基本的な応答のパターンをリスニング演習の際に意識して行い, 習得させる。質問文を聞く際に, 最初の疑問詞や助動詞をきちんと聞き取らせる活動を継続的に行っていく。また相手の提案や依頼に適切に応じる力を身につけるために, それらの表現を用いた文をペアで練習し定着させ, それらの表現を用いてスキット作りを行わせ, 場面や状況に応じた応答が出来るよう指導を行う。
- *小中一貫した取組については, 小学校の外国語活動での音声によるコミュニケーション活動を重視して実施している。また読むこと及び書くことについての指導も聞くこと及び話すこととの関連を持たせて指導を行っている。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験	2年生 期末試験			2年生課題	2年生 学年末試験
目標値		40.0%	45.0%			55.0%	60.0%
実施後数値							

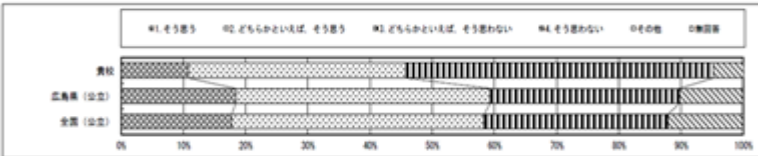
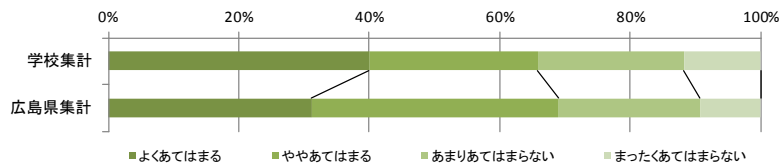
◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験	2年生 期末試験			2年生課題	2年生 学年末試験
目標値		60.0%	65.0%			75.0%	85.0%
実施後数値							

来年度に向けて

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査）

(1) 生活・学習

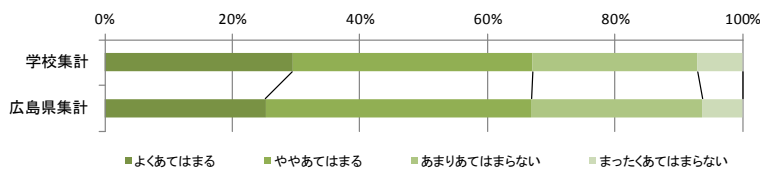
自分にはよいところがあります。



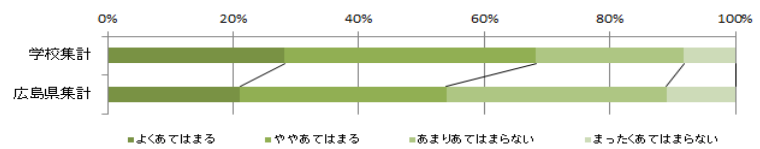
	生徒の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	自分には、よいところがあると答えた生徒の割合は65.9%で自尊心の低い生徒は34.1%と比較的多い。	実行委員を組織し、行事や総合的な学習の時間の取り組みを活発にし、生徒の力でやりきる充実感を持たせる。	2	70%以上	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
全国	話し合いの活動で、異なる意見や少数意見のよさを生かしたりして話し合っているかの問いに「そう思う」が10.8%「どちらかといえばそう思う」が34.9%であった。	教科指導や道徳の時間の工夫により、話し合い活動を取り入れ、お互いの意見を深める話し合いになるよう指導する。	3	60%以上	生徒アンケート調査を実施する。	2月		

(2) 教科

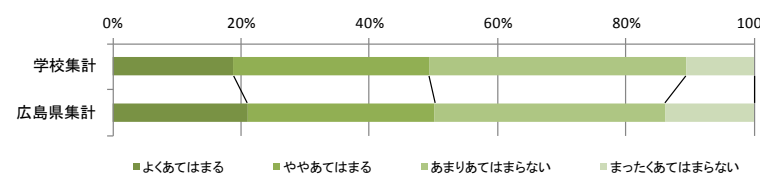
国語の授業の中で、目的に応じて資料を読み自分の考えを話したり書いたりしています。



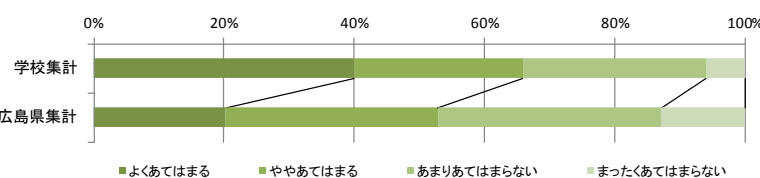
数学の授業では、自分の解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明をしています。



理科の授業では、観察や実験を行うときは、その目的は何かを意識しています。



英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。



	生徒の回答についての課題(現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本 国語の授業では目的に応じて資料を読み自分の考えを話したり書いたりしています。(67.1%)	相手意識を持って、説得力のある具体的な例や提案理由を挙げて、自分の意見を話す学習を設定する。	2	70%	生徒アンケートの実施	2月		
	全国 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。(60.3%)	学習の内容に応じた話し合いやスピーチなど表現させる際、構成、聞き手に応じた説明を考えさせる学習を取り入れる。	3	70%	生徒アンケートの実施	2月		
数学	基礎・基本 数学の授業では自分の解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明をしています。(68.2%)	図や表言葉の式を利用し、問題解決方法を説明する場面を増やし、課題解決問題を取り入れる。	2	75%	生徒アンケート実施	2月		
	全国 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えています(53.0%)	日常事象に関連した内容の教材や問題を提示し、日常生活における数学の有用性を知る授業を取り入れていく。	3	65%	生徒アンケート実施	2月		
理科	基礎・基本 理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。(49.2%)	観察や実験の結果や、既知の知識等を活用して結論を導いたり、それを説明したりする学習活動をより一層充実させる。	2	60%	生徒アンケートの実施	2月		
英語	基礎・基本 英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。(65.9%)	常に英語を聞く時は、メモを取る習慣をつけさせ、英語で書いた自分の意見をペアや全体に発表する場を今よりも多く取り入れていく。	2	70%以上	生徒アンケートの実施	2月		